

第3回 院内QCサークル大会 (平成17年7月11日開催)

の記事が**ベストナース**に掲載されました。



感染対策を巡るトピックス

～病院機能評価&コンプライアンス



QC活動に新鮮な受け止めが

医療法人社団五稜会病院(田中
稜一院長・鈴木由美子副院長兼看護部長、百九十三床)は、七月十一日、第三回院内QCサークル大会を開催しました。
最初に小林祥子・QCサークル委員リーダーが「五稜会病院におけるQCサークル活動(これまでとこれから)」と題し講演。その中で、同病院での必要性について、機能評価受審(六月二十日に精神科病院バージョン4.0で認証)を契機に各部署の改善事項が明確化、各部署・職種間連携の業務の増加、選ばれる病院づくりなどを挙げました。

今回は栄養課から継続テーマの

五稜会病院(札幌市)
第3回院内QCサークル大会を開催、
デイケア出席申込みにカード導入など

「職員の不喫食(その後の状況報告)」が出され、手続き簡素化や責任者の明確化などの取り組みが職員の意識を向上させ、不喫食が減少していることを報告。事務・PSW混合プロジェクトチームからは保険証の変更確認、生活保護意見書発行・受領、高額療養費委任払申請・受領について事務、PSW間で確認できる「確認簿」を作成し改善した報告が、デイケアセンター「コラボ」からは「出席・食事申し込み方法の改善」と題して、個人情報保護を保護し、出席・食事の申し込みが明確に分かり、メンバーが意識を持って参加、算定漏れも防止する対策として、デイケアカードの作成とそれを入れる出席ポストの設置を行った取り組みが紹介されました。
最後に製薬業勤務時代にQC活動の経験を有する研修医が、発表のポイントはビジュアル性と美しいストーリー、部外者にも分かる説明、とアドバイスしました。

第4回 QCサークル大会は11月の予定です。